



滿州國皇帝陛下に 御機嫌奉伺の電文

石城郡在郷軍人聯合分會總會 出席一千余に及ぶ盛會

石城郡在郷軍人聯合分會では、今日十日忠魂祭の参拜を終る午後零時半から平町警察館に於て總會を開いたが出席一千余に及ぶ盛況で四王天中將、福島縣隊司令部から佐川中佐の臨席あり定刻聯合分會副議長赤津中尉の開辭と同時に國歌合唱、聯合分會長藤田中尉の勸語捧讀、支部長司令官代理佐川中佐の訓示終つて滿州國皇帝陛下に御機嫌奉伺の儀を一同に諧り

三百十勇士を弔ふ 今日の石城忠魂祭

日露役卅周年で一層の盛儀 九百名の郷軍に閱兵式

石城郡出身の戦死病歿者は今年更に二層を加へて三百十勇士となり此の忠魂を弔ふ例祭は今日午前九時半から平町松ヶ岡公園の櫻花吹き初める忠魂碑前に執行された式は神官の修祓、献饌、祝詞型の如く次へて僧侶の讀經を終り郡町村長支會長青沼源太郎、郷軍聯合分會長藤田榮助氏を初め來賓の祭文ありて司會者の玉串奉奠から來賓、遺族傷兵郷軍、老兵會、赤十字、愛國

縣下の請負業大會 役員大異動の模様

来る十四日平町に開かれる 出席會員二百名の見込み

縣下土木建築請負業組合の第... 櫻花の平町に開催されること四回定時總會を本月中旬中に

常識講座

伊太利のムツソリニが高唱するアツシオは結束を意味する語でマ... 主シヤ革命への道なく

平瀧校から拒絶され 勿來關田校新築

九面方部の兒童收容に 總工費一萬六千圓で

（既報）校舎狹隘を理由として隣接茨城縣平瀧小學校から通學兒童の收容を拒絶された勿來町では關田、九面方部の通學兒童收容に就いて協議を進めてゐたが愈々總工費一萬六千圓を以て町町隣附近に約二千坪の敷地を選定し關田小學校の新築移轉する事に決定したので来る十三日午前十時から町町協議會を開き小學校の起債と基本財産支出の件を協議する

橋谷田部長等 十三日赴任

警官第二次異動により中村署へ榮轉の平署橋谷田部長は十三日午前十一時、同郡山署への保任部長は同日午前十一時平署發列車で赴任する

木村技師 港灣調査

縣土木課木村技師は昨九日來平小林土木所長の案内で四倉

今年の春繭相場は 三十五六圓の所か

石城地方の掃立は平年並らし それで生産費ミトシ

石城郡に於ける春繭の掃立量は平年十五萬グラム（蠶量）と云はれてゐるが来月上旬の掃立期を控へた本年の見込みは最初前記より若干減少するものと豫想されてゐたに反して現下の糸價より計算する繭價の見込みは値三十五、六圓かと唱ひられるに至つた爲め一般産家の氣を引き立て、平年の繭價であらうと云はれてゐる養蚕の發育は目下の状況では昨年より二、三日早く従つて掃立ても其の順を見るものと如く例年早掃立をなす小川村方面は来月五、六日掃立下されるであらうと見られてゐる而して如上の繭價にしては縣が昨年調査された左記の經費では漸くトシトシであるから掃立よりも減損良繭主義で行かしためたいと養業指導當局者は語つてゐる

自動車協會 役員會

自動車協會平支部では十一日午後一時から平署會議室に於て役員會を開き中村町に開かれる縣協會大會に出席の件並に優良運轉手の表彰者決定を協議する

中堅農民 同窓會

石城郡農會中堅農民講習會では今日午前十時から平町町會事務所で同窓會を開催同修

霞橋竣工 大野大浦 協賛會組織

大浦、大野兩村界にある縣道四倉中島線霞橋は仁井田川改

拾遺歌中題詞の「さ」は 現今の湯本(三箱)町に懸く

（飯坂温泉元湯の鯖湖に強引、建碑せるは無稽、不當の極み）

鮫川刺史

鬼に角、湯本と湯の嶽は、即ち俗に云ふ奥の宮(院とも)太古このかた地質的にも人文と稱する本詞は、右の岳嶽或は山腹に初祭されたたなからあつたのは、容易く首肯されうかと想像するに難くない。諸國の古社、舊神の概ねは、

湯の嶽、一名三箱山に就いて、近世の文を少出すると、湯の嶽、東平城西二十里(古制の六町一里を以てす)磐前郡、高百七十八丈、南山

板間稼ご 白鳥温泉で

磐崎村大字白鳥生れ岡部重春(三)は九日午後八時頃同村白鳥温泉春木屋館に忍び入り浴場脱衣場にあつた植田町居住氏名不詳所有の銀側腕時計一ヶを窃取逃走した事間もなく發覺脱走に検査された

災害復舊完成

城内災害復舊工事の江名町海岸工事釜田川、鮫川、小玉川仁井田川工事等竣成したので縣土木課遠藤技師は十一日來平實地検査を行ふ筈である

坂本紙店の 賊未就縛

昨報平町一丁目坂本紙店方を襲つた怪盜はその後半署司法部總出で犯人捜査を續けてゐるが未就縛九日夜は全町に非常線を張つて犯人の探索をなしたがまだ判明しない

板間稼ご

磐崎村大字白鳥生れ岡部重春(三)は九日午後八時頃同村白鳥温泉春木屋館に忍び入り浴場脱衣場にあつた植田町居住氏名不詳所有の銀側腕時計一ヶを窃取逃走した事間もなく發覺脱走に検査された

災害復舊完成

城内災害復舊工事の江名町海岸工事釜田川、鮫川、小玉川仁井田川工事等竣成したので縣土木課遠藤技師は十一日來平實地検査を行ふ筈である

坂本紙店の 賊未就縛

昨報平町一丁目坂本紙店方を襲つた怪盜はその後半署司法部總出で犯人捜査を續けてゐるが未就縛九日夜は全町に非常線を張つて犯人の探索をなしたがまだ判明しない

板間稼ご

磐崎村大字白鳥生れ岡部重春(三)は九日午後八時頃同村白鳥温泉春木屋館に忍び入り浴場脱衣場にあつた植田町居住氏名不詳所有の銀側腕時計一ヶを窃取逃走した事間もなく發覺脱走に検査された

湯の嶽、一名三箱山に就いて、近世の文を少出すると、湯の嶽、東平城西二十里(古制の六町一里を以てす)磐前郡、高百七十八丈、南山

